

荒谷まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

荒谷地域

令和元年9月13日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>① 障がい者の就労の場についてお伺いします。</p> <p>(1) 市内の障がい者就労施設は、天童ひまわり園の1施設だけです。私の子どもも障がいを持っていますが、入所先を決めるのに大変苦労しました。現在は、寒河江市の施設に通っており、市外の施設を利用する場合、送迎の問題など、本人はもちろん、家族、施設スタッフの負担は非常に大きく、同様のことで悩んでいる保護者の方はたくさんいます。</p> <p>また、障がい者を雇用している企業はありますが、雇用されているのは一部の身体障害の方だけで、自閉症などの発達障害や適応障害の方を受け入れているところはほとんどありません。</p> <p>ぜひ、天童市内に障がい者の働く場や受け入れる作業所などを設置していただければと思います。</p> <p>(2) 県では農福連携を進めていくと聞きました。そこで提案ですが、行政が地元企業や商工会議所、農協などと意見交換や情報交換の場を設けて農業と連携した商品を作ってみてはどうでしょうか。地域の遊休農地で農作物を栽培し、空き家を作業所にすれば、地域の課題解決にもつながりますし、農作物を地元企業で商品化すれば、収穫や選別作業をはじめ様々な場面で雇用が生まれます。そういった場を障がい者の雇用の場として提供してもらおうのもひとつかと思</p>	<p>社会福祉課 学校教育課 市長公室</p>	<p>(1) 障がい者就労施設は、障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス事業所として、社会福祉法人や民間企業、NPO法人等が設置運営を行っています。市としては、今後そうした法人等が、市内に事業所を設置する場合には様々な面で相談や支援を行っていきたいと考えています。また、法人等に対し、市内での開設を検討してもらえるよう働き掛けてまいります。</p> <p>(2) 農業と福祉の連携による障がい者の農業分野への就労促進については、地域における障がい者の就労訓練や雇用の場となるだけではなく、地域農業の維持、働き手の確保にもつながる可能性があると考えております。しかしながら、法人等による事業の実施に向けては様々な課題が想定されることから、県や関係機関と連携し、農福連携に関する先進的事例や各種支援制度等の周知等に努めるなどの支援を行ってまいります。</p> <p>(3) 市内全ての小中学校では、総合的な学習の時間に、天童の魅力やよさについて調べる学習に取り組み、子どもたちが天童に愛着を持ち、天童をよりよいまちにしていこうという児童生徒が育つよう努力しています。これを子どもたちが提言できる場として、どのように発展させられるのか、市小中学校長会と話をしながら考</p>

荒谷まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

荒谷地域

令和元年9月13日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>ます。具体的なものとして、天童市の気候が栽培に適しているアーモンドや現在人気のある山菜の水煮などはいかがでしょうか。他地域の成功例を参考にいろいろ考えていただきたいと思います。</p> <p>(3) 障がい者の就労の場を含め、様々な人が働ける場所の創出、あるいは地域活性化を図るため、小中学校の児童生徒や高校生、大学生からアイデアを提案してもらってはどうか。子どもたちはいろいろなことを発見し、常識にとらわれない発想をします。そこからヒントを得て、これからのまちづくりに役立てられるかと思えます。</p>		<p>えていきたいと思えます。</p> <p>また、本市は明治大学と各分野における連携事業を実施しており、そのひとつに、学生が本市での活動を通して、地域活性化に向けたまちづくりへの提言を行う事業に取り組んでいます。いただいた提言は、企画立案の参考とするため、情報を共有化しています。今後とも、高等教育機関との連携事業に機会を捉えながら取り組んでまいります。</p>
<p>② 最近、荒谷地区にあった商店がなくなりました。近くで買い物ができなくなったので、高齢者の方は困っているのではないのでしょうか。移動販売車が地域に来るようになれば便利になると思いますが、天童市では、品物の売り買いが関係するからか、市立公民館での移動販売車の営業の許可がおりないということを聞きました。山形市では、許可がおりているようなので、天童市でも許可がおりるようになればいいと思えます。</p>	生涯学習課	<p>市立公民館の敷地を利用して地域に必要なことを行うことは可能です。事前の申請について、内容を審査し、可否を判断いたします。申請方法は、生涯学習課にお問い合わせください。</p>
<p>③ 嘱託区の区域は、これまでの歴史的背景などから定められてきた経過があるようですが、境界が入り組み、境目がわかりづらくなっている所があります。嘱託区について規定している規則を改正し</p>	総務課	<p>本市では、嘱託区の番号により、小中学校の学区の設定や選挙の際の投票所の指定等を行っており、嘱託区の位置づけは非常に重要です。また、少子高齢化の進展や自然災害の頻発などにより、</p>

荒谷まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

荒谷地域

令和元年9月13日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>て、これから住まわれる方が困らないようなわかりやすい区割りを検討いただければと考えますがいかがでしょうか。</p>		<p>地域単位での支え合いが非常に重要な現代において、将来にわたる地域活動にも大きく関わってきます。このため、それぞれの地域のコミュニティによる歴史的背景に基づき設定されている嘱託区の変更については、隣り合う地域、双方の合意が必要であると考えます。</p> <p>嘱託区は、その嘱託区にお住まいになる住民の求めに応じ、実情を考慮したうえ、やむを得ないと認めるときは、新たな区域の設定や既存の区域を改編することができるものとされていますので、変更等の必要が生じた場合は、関係する地域間で調整を進めたいと御相談いただきたく思います。</p>
<p>④ 平成29年3月に策定された天童市スポーツ推進計画に、障がい者のスポーツ参加や障がい者スポーツの推進などについての記載があります。市では、これまでどのような取組をしてきましたか。また、今後の計画を教えてください。</p>	<p>社会福祉課 文化スポーツ課</p>	<p>障がい者スポーツの参加状況については、山形県身体障がい者スポーツ大会やレクリエーション大会に個人・団体で参加しているほか、県の大会で好成績を残された方が全国障害者スポーツ大会に出場しています。市では、全国大会等で上位入賞が期待される2人を特別育成強化指定選手として認定し、活動を支援しているところです。また、天童市身体障がい者福祉協会や天童市手をつなぐ育成会と連携しながらスポーツ事業を実施するなど、今後とも、様々な機会を通して障がい者スポーツの普及・振興に努めてまいります。</p>

荒谷まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

荒谷地域

令和元年9月13日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>⑤ 子どもたちの郷土愛を育むため、市や各地区の歴史についての教育に取り組んでいただければと思います。</p>	<p>学校教育課</p>	<p>学習指導要領では、小学校3年生の社会科で市について学習することとなっています。国の検定を受けた教科書だけではふるさとの歴史に関する情報が十分に得られないことから、市では副読本を独自に作成し授業で活用しているところです。</p> <p>また、教育委員会では「地域のひと・もの・ことを活用した学校づくり」という事業で、専門的な技能・知識を持つ方々から、地域の歴史や伝統行事などについて学ぶ機会を設けられるようにしています。</p> <p>今後も子どもたちが郷土愛を育ていけるよう、ふるさとの歴史についての教育を充実させていきたいと考えています。</p>
<p>⑥ 先日の台風15号では、千葉県を中心に大きな被害がありました。大きな災害は、いつ天童市で起こってもおかしくない状況です。</p> <p>秋には、各地域で防災訓練が実施されますが、小中学生の参加が非常に少ないように感じます。子どもたちの防災意識を高めるためにも、多くの小中学生が参加するようになればいいと思います。</p>	<p>学校教育課</p>	<p>多くの時間を学校で過ごす子どもたちは、災害発生時、学校にいたことが考えられます。市内の小中学校では、防災教育の一環として、年間3～5回の避難訓練を実施し、火災、地震、不審者対応など、様々な工夫をしながら訓練を行うとともに、マニュアルなどを作成しています。また、自分の命を守るためには、児童生徒が自ら危険を予測し、回避する能力を高めることが大切だと考えます。このような形で、児童生徒の防災意識を高める取組を行っているところです。</p> <p>地域の防災に関する活動については、学校でも声掛けします</p>

荒谷まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

荒谷地域

令和元年9月13日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
		が、ぜひ子どもたちも誘いながら、いっしょに行っていただければと思います。
<p>⑦ 平成28年度のまちづくり懇談会において、市内には65歳以上で一人暮らしされている方が1,746人いると伺いました。現在はどれくらいですか。また、荒谷地区の状況も教えてください。</p> <p>市では認知症の方への対応について様々な努力をされていますが、認知症初期集中支援チームというものがあると聞きました。認知症初期集中支援チームはどういった活動をしていますか。</p>	<p>保険給付課</p>	<p>平成31年4月1日現在、一人暮らしの65歳以上の方は、市全体で1,945人、そのうち75歳以上の方は1,049人です。荒谷地区では、65歳以上の一人暮らしの方は60人いらっしゃいます。市全体で高齢化が進んでおり、一人暮らしの高齢者数は、今後ますます増加することが予測されます。</p> <p>市では、認知症の方への対応として、認知症サポーター養成講座、認知症事前登録者支援事業「うまく見守る」の実施や、平成28年度から認知症初期集中支援チーム「ホオジロ」の委託と認知症カフェの開設など、様々な事業を行っています。認知症初期集中支援チーム「ホオジロ」については、認知症が疑われるが、診断・治療に結びついていない方への支援を目的に、市が秋野病院に委託して取り組んでいる事業です。認知症の方への対応は「寛容さ」が大事と言われますので、寛容な地域社会を目指して、認知症施策を実施しているところです。</p>
<p>⑧ 八千代台町内には、管理されていない空き家があります。敷地内には高さが10メートル以上ある立ち木が放置され、隣家に伸びた枝が侵入して、枝からの落雪で屋根が損傷するなど、住んでいる</p>	<p>建設課</p>	<p>空き家の管理は、所有者や管理者、相続人が行うこととなりますので、所有者等の所在を調査し、適切な管理指導をするのが基本的な考え方です。</p> <p>市内には同様の事例がいくつ</p>

荒谷まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

荒谷地域

令和元年9月13日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>方は大変困っています。勝手に木を切ることはできませんし、所有者に連絡する手段もありません。仮に所有者の確認が取れて地域で切り倒すにしても、相当の費用が掛かることが見込まれます。</p> <p>同じような問題は、市内の様々な地域で発生していると思います。このような場合、市ではどのような対策を取っていますか。</p>		<p>か見受けられますが、他地域では、市が窓口となり所有者の了解を得て、地域で伐採した例等もあります。空き家に関する苦情等には、相談の内容に応じて現地を確認し、地域の意向も伺いながら、所有者等を特定したうえで適切な管理指導をしてまいります。</p>
<p>⑨ 荒谷地区では、クマやイノシシ、カモシカ、サルなど、様々な野生鳥獣が出没し、農作物への被害などが発生しています。農作物が被害を受ければ、猟友会が捕獲などを行うこととなりますが、猟友会では会員の高齢化が進み、捕獲が追い付かない状況になっているそうです。</p> <p>そこで、狩猟免許の取得費用を支援していただくなど、猟友会の会員を増やすような手だてを考えてもらえればと思っているところです。また、農協職員が狩猟免許を取得して、先頭に立って被害対策に取り組んでいただくのはどうでしょうか。</p>	農林課	<p>農作物が野生動物により被害を受けた場合は、農協等から市に捕獲許可申請があり、市が鳥獣被害対策実施隊に依頼して、罠の設置や追い払いなどを行います。また、市では、対策として最も有効である電気柵の設置を支援したり、市報等で鳥獣のエサになるようなものを放置しないことを周知したりして、被害防止に努めているところです。</p> <p>平成30年度からは、新たに狩猟免許を取得する方を対象に、免許取得経費などの2分の1の額を補助金として交付しており、その効果から、今年度は鳥獣被害対策実施隊員が6人増加しました。農協職員も今年度新たに狩猟免許を取得していますので、今後も働き掛けを行ってまいります。</p>
<p>⑩ りんごの黒星病が大発生しています。県内一円で発生しているようですが、市では状況をどの程度把握していますか。また、農家の生産意欲の低下にもつながると思いますので、今後どのような指</p>	農林課	<p>県や農協などが、県内各地で調査したところ、その発生は県全体に広がり、特に天童市や東根市など村山地域に多く、市内でも地域によって差があるようです。9月9日には、県主催の黒星病対策会</p>

荒谷まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

荒谷地域

令和元年9月13日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>導をしていくのかお聞きします。</p>		<p>議があり、対策として、十分な薬液量で散布することや、樹間を広くして枝が込み合わないよう整理すること、散布間隔・散布回数を守ること、さらに被害落葉を集めて処分することなどが有効とのことでした。</p> <p>市では、県や市農業委員会、農協、実行組合、果樹部会と話し合いを重ね、遊休農地など管理されていないりんごの樹木への対策などを検討しているところです。今後とも、県や農協などの関係機関と連携を図りながら黒星病の撲滅に向けて対応してまいります。</p>
<p>⑪ 今年5月、八千代台環美協のこれまでの実績が評価され、国土交通大臣表彰を受賞しました。しかし、八千代台環美協は高齢化が進み、今後作業する人がいなくなってしまうような状況で、様々な場面で活動をPRし、地域全体で守っていければと思っています。市長からも感謝状をいただければPRにつながると考えますがいかがでしょうか。</p>	<p>市長公室 都市計画課</p>	<p>この度の八千代台環美協の国土交通大臣表彰受賞は、市から県へ推薦したもので、これまでの実績が認められたものと思います。</p> <p>市からの表彰については、八千代台環美協の皆様とも話し合いをしてまいりたいと考えています。</p>
<p>⑫ 高齢者の交通手段に関してお聞きします。</p> <p>(1) 運転免許を返納した際に、タクシーの利用券などがもらえますが、1回の利用で使用できる枚数に上限があり、思ったように使えないということを聞きます。もう少し自由に使えるようになりませんか。</p> <p>(2) 交通弱者、買い物弱者が増加</p>	<p>生活環境課</p>	<p>(1) 運転免許の自主返納者に交付しているタクシー券については、平成30年度までは、1回につき2枚までの利用制限を行っていましたが、利用者の声を反映し、今年度から利用制限を廃止しました。</p> <p>(2) 公共交通の今後のあり方については、山交バス及びドモス等の公共交通について、バス及びタ</p>

荒谷まちづくり懇談会の提言に対する対応状況

荒谷地域

令和元年9月13日開催

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>している中、公共交通機関の充実について、5年後、10年後の市としての構想はありますか。</p> <p>(3) ドモスは、土曜日や日曜日、祝日は運行していません。休日も運行できるようにしてもらえませんか。</p>		<p>クシー事業者等と協議し、利用者の皆様が不便に感じている点を改善する努力をしながら、高齢者等の交通弱者の移動手段の確保に努めてまいりたいと考えています。</p> <p>(3) ドモスの土曜日や日曜日、祝日の運行は、運行事業者の運転手の確保などの問題から、現時点では難しい状況ですので、御理解願います。</p>
<p>⑬ 鳥獣被害に関して、尾花沢市では、イノシシを捕獲した場合に、報奨金を出す取組を実施するようです。電気柵を設置しても、イノシシは電気柵がない別の場所に行くだけですので、電気柵に頼らずに、見つけたらすぐに駆除するようなことが必要だと思います。天童市でも報奨金を出して駆除を進めなければ、被害はさらに拡大していくのではないのでしょうか。</p>	<p>農林課</p>	<p>現在、市ではイノシシ1頭当たり8,000円の捕獲報奨金を出しており、単価は周辺の市町村の状況を調査し設定しました。捕獲数は、市全体で、昨年度が17頭、今年度は8月末現在で15頭となっています。</p> <p>今後も他市町の支援策なども参考にしながら支援の充実を図ってまいります。</p>